

委員会活動報告

災害に強いまちづくり特別委員会

一部事務組合議会ニュース

西多摩衛生組合議会 (青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町)

災害廃棄物の受け入れ状況見学会を実施



災害廃棄物を積載したコンテナ車 (約4t)

6月21日、東日本大震災に伴う災害廃棄物の受け入れ状況見学会が、西多摩衛生組合で開催されました。

午前9時20分、災害廃棄物を積載したコンテナ車が2台搬入され、瑞穂町の組合議員をはじめ構成市町の組合議員が立会いをし、受け入れ状況および災害廃棄物の安全性の確認をいたしました。

当日の見学では、

- ・災害廃棄物は、宮城県女川町の廃棄物で、ほとんどが木くずで現地での安全確認をしたものであること。
 - ・焼却対応は当面、災害廃棄物の混入率を約10%とし日量約11tとすること。
(最終的には、混入率約15%、日量約20tを予定)
- などの説明があり、最後に、実際の災害廃棄物の攪拌状況や焼却後のデータも提示され、焼却業務における安全性についても確認をいたしました。

声の議会だよりをお届けいたします。

「朗読グループ 虹の会」の皆様のご協力をいただき、議会だよりをテープに録音し、ご自宅までお届けしております。録音時間はおおむね60分程度です。

ご希望のある方は、議会事務局までお問い合わせ下さい。
お問い合わせ 議会事務局 TEL 557-7693 (直通)

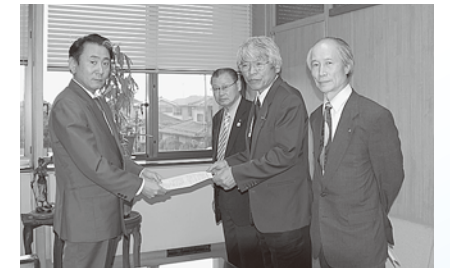


自主防災組織及び防災訓練のあり方に関する要望書を提出

5月10日、災害に強いまちづくり特別委員会では、町は防災行政上重要な組織である自主防災組織と更なる連携を図るとともに、防災訓練のあり方を見直すべきと考え、

1. 自主防災組織の制度構築を図ること。(条例、予算、権限の移譲等)
2. 各自主防災組織別に防災力の強化を図ること。
3. 防災リーダー (防災士) を養成すること。
4. 災害発生から3日分の生活用品 (食料、水、薬等) 備蓄の重要性について啓発すること。
5. 災害がいつ発生しても対応できるように防災広報・防災教育を推進すること。
6. 防災訓練は、自助・共助をテーマとし、各地域にあった内容で実施できるように内容を再検討すること。

以上のことについて、町に要望しました。



町に要望書を提出

夏の電力不足に関する要望書を提出

6月15日、同委員会では、電気料金の値上げや、過度の節電などから、今夏も一人暮らし高齢者や乳幼児を抱える家庭などで、熱中症の発症が危惧されると考え、「町の公共施設 (コミュニティセンターなど) を住民のシェルターとして利用できるようにすること」を、町に要望しました。

町議会では、議会報告会を5月26日 (土)、27日 (日) に6会場で行い、2日間で述べ56人の住民の方々にご参加いただきました。

内容につきましては、議員側から平成24年度予算について報告し、住民の方々からは議会運営全般や町の事業執行についてなど、延べ46件の意見・要望・課題などをいただきました。

議会と住民の方々情報が共有し、ご意見などを住みよいまちづくりに生かしていきたいと考えていますので、次回も多くのご参加をお待ちしています。



を開催しました

議
会
報
告
会